

(参 考)

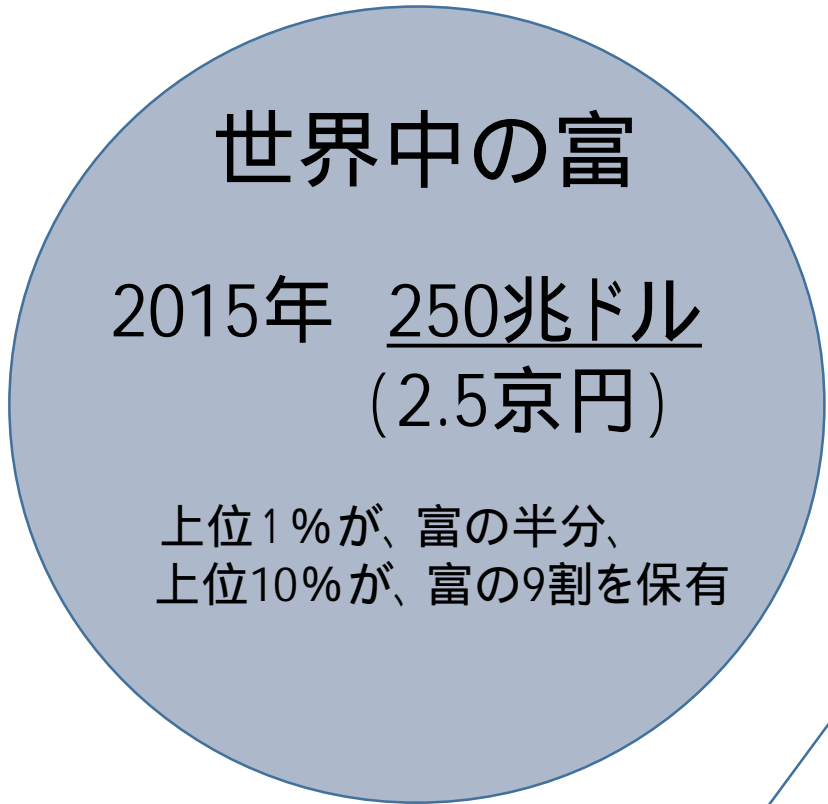
社会的インパクト投資の市場規模 (全世界・英国・日本)

インパクト投資とは、経済的利益を超えて、プラスのインパクトを創出することを目的としている投資である。

Investment intended to create positive impact beyond financial return

1. 3つの数字

社会的インパクト評価



(出所) クレディ・スイス
「Global Wealth Report 2015」

当初のリスクとコストについて、
ロックフェラー財団等の富裕財団や、
欧米各国政府が基金を組成して負担

資金の流れを太くするためには、
社会的インパクトを
「見える化」することが不可欠

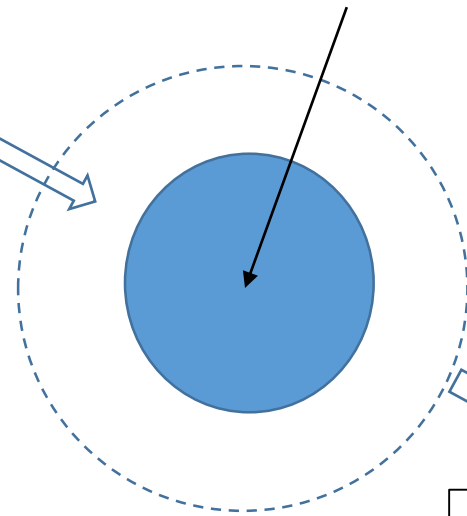
欧米では、さらに以下のような取組を実施
新たな法人制度や認証制度の創設

社会的投資減税の創設
社会的取引市場の創設

インパクト投資 <資産総額>
2015年 774億ドル (8兆円) [3年間で2倍に]

2020年には、
4,000億ドル(40兆円) ~ 1兆ドル(100兆円)
という予想も

0.03%



(出所) JPモルガン
「Annual Impact Survey 2016」他

SIB (ソーシャル・インパクト・ボンド)
2015年 60プロジェクト
2億ドル (200億円)

0.3%

(出所) Social Finance
「Social Impact Bonds The Early Years」

欧米における主なインパクト投資ファンド

ファンド名	規模 (百万ドル)	ファンド名	規模 (百万ドル)
Aavishkaar: India Micro Venture Capital Fund (Mumbai, India)	9.5	Elevar Equity: Unitus Equity Fund and Elevar Equity II (San Francisco and Seattle USA , India)	94.0
ACCION Texas Inc. (San Antonio, USA)	29.8	Huntington Capital: Huntington Capital Fund II, LP (San Diego, USA)	78.0
Bridge Ventures: Sustainable Growth Funds I and II (London, UK)	184.6	The W.K. Kellogg Foundation: Mission Driven Investments (Battle Creek, USA)	100.0
Business Partners Limited: Southern African SME Risk Financial Fund (Johannesburg, South Africa)	331.3	Micro Vest: Micro Vest I, LP (Bethesda, USA)	48.5
Calvert Foundation: Community Investment Note (Bethesda, USA)	242.0	RSF Social Finance: RSF Social Investment Fund (San Francisco, USA)	101.0
Deutsche Bank: Global Commercial Microfinance Consortium I	80.6	Small Enterprise Assistance Funds: Sichuan SME Investment Fund, LLC (Washington, USA; Chengdu, China)	22.5

(出所) Cathy Clark, Jed Emerson, and Ben Thornley (2015) *“The Impact Investor – Lessons in Leadership and Collaborative Capitalism”*

2. 英国の社会的投資市場(2015年末)2016年3月 BSC調査)

英国の社会的投資(残高)は、2015年末時点で、少なくとも15億ポンド(約2,700億円)以上である。

2015年末時点で、約3,500近くの社会的投資が行われており、少なくとも3,000以上のチャリティ団体や社会的企業が社会的投資から便益を受けているとみている。

社会的投資の2/3以上(70%)が、アセットロックのかかったチャリティ団体や社会的企業にチャネルしている。

残りの30%は、アセットロックのかかっていない社会的企業や営利目的の企業にフォーカスしたものである。

社会的投資の構成をみると、アセットロックのかかった組織への社会的な銀行貸出が依然として高い比率を占めている他、非銀行貸出(10%)、社会的資産ファンド(9%)、コミュニティ株式(6%)、チャリティ債(6%)、準株式(2%)等が最近急増している。

2015暦年の社会的投資取引額は、フローで約700のチャリティ団体や社会的企業にコミットした約4.27億ポンドであった。これは、完全な比較は困難ではあるものの、2011年時の2倍の規模であり、年率換算でみると約20%の伸びである。(注:ポストン・コンサルティングの試算 2011年 1.65億ポンド)

Big Society Capitalは、社会的投資よりも広い概念である、投資家あるいは投資先が社会的動機で行ったインパクト投資の規模についても推計している。投資家主導のインパクト投資の規模は少なくとも32億ポンド、投資先主導のインパクト投資の規模は少なくとも680億ポンドとみている。

付表1:英国の社会的投資(A)残高 (2015年末時点)

	残高(百万£)	構成比	投資件数	2015年中取引 (百万£)	2015年 取引件数
社会的銀行貸出 (主として担保付)	545	36%	1,264件	144	154件
非銀行貸出 (主として無担保)	158	11%	858件	38	351件
準株式	32	2%	123件	11	35件
SIB	14	1%	18件	2	3件
コミュニティ株式	96	6%	353件	30	97件
社会的投資減税 (SITR)	1	0.1%	9件	1	9件
チャリティ債	86	6%	18件	33	5件
特別財産	130	9%	14件	51	9件
営利目的企業への 全投資	462	30%	807件	118	46件
社会的投資残高(総計)	<u>1,525</u>	100%	<u>3,463件</u>	<u>427</u>	<u>709件</u>

付表2:英国の広義のインパクト投資(B+C)投資残高 (2015年末時点)

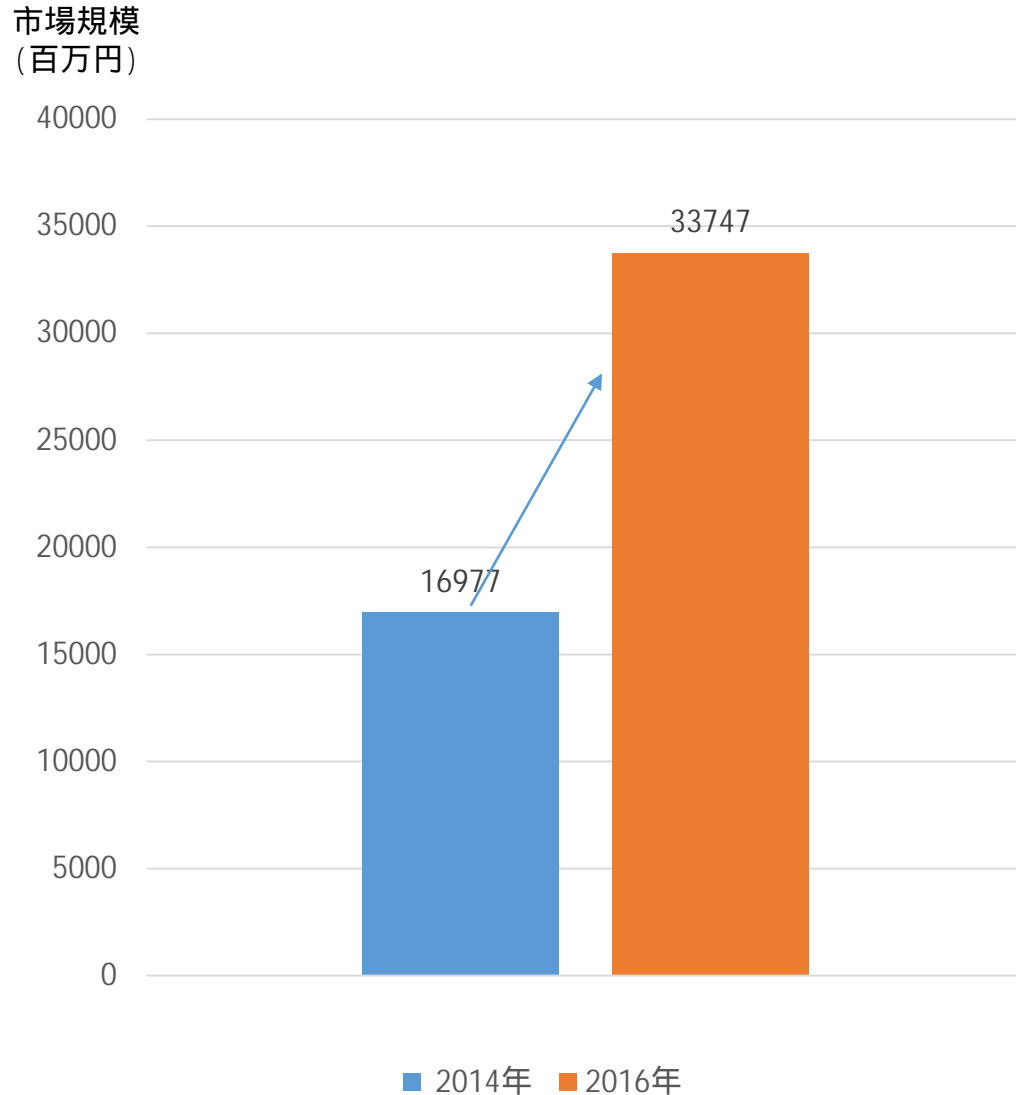
(1)投資先主導のインパクト投資残高(B)

	残高(百万£)	
Blended funds	1,836	社会的投資を行っている小売ファンド
信用組合ローン	720	信用組合セクターによるローン
CDFI ローン(除くソーシャル・セクター)	173	チャリティ団体・社会的企業向け以外の CDFIによるローン
その他の投資家主導の投資	520	様々なもの
投資家主導のインパクト投資残 高(総計)	<u>3,249</u>	

(2)投資先主導のインパクト投資残高

	残高(百万£)
チェリティ団体・社会的企業に対する商業銀行ローン	2,797
大規模チャリティ団体発行の債券	6,409
住宅組合債	19,600
住宅組合向けの商業銀行ローン	39,400
投資先主導のインパクト投資残高(総計)	<u>68,206</u>

3. 日本における社会的インパクト投資市場規模



(出所) G8社会的インパクト投資タスクフォース国内投資委員会「日本における社会的インパクト投資の現状2016」(平成28年9月28日公表)

【主な結果】

2016年時の社会的インパクト投資市場は、投融資残高で計337億円となり、2014年と比較すると年平均41%の成長となる。

資金提供者をみると、日本政策金融公庫(171億円)、市民エネルギーファンド(39億円)、ミュージックセキュリティー株式会社(38億円)、(公財)三菱商事復興支援財団(20億円)等が過半を占めている。

資金提供手法別にみると、融資が191億円、出資(67億円)の占める割合が過半を占めている。

資金提供先法人形態別にみると、株式会社(214億円)、NPO法人(88億円)への資金提供が過半を占めている。

地方銀行・信用金庫・信用組合によるNPO法人向けの低金利融資規模を正確に参入できていないことに留意が必要。2015年に、信用保証制度の対象に、NPO法人が加えられたことから、今後成長していくと考えられる。

(参考) 日本における社会的インパクト投資の事例

日本ベンチャー・フィランソロピー基金 (1億円)

2013年に日本財団内に設立された日本初の本格的なベンチャーフィロソロピー基金。社会的企業と非営利組織の両者を対象に教育と若者の就労、育児と助成の活躍、地域コミュニティの創出・強化の領域に焦点をあてて活動する組織を支援対象としている。

ベネッセソーシャルインベストメントファシリティ (1500万ドル)

2013年に、ベネッセが日本企業初のインパクト投資ファンドであるベネッセソーシャルインベストメントファシリティを設定した。東南アジア・南アジアの教育関連、育児・助成関連、シニア関連を主な投資対象としている。

三菱商事復興支援財団 (100億円)

東日本大震災から1年後の2012年3月に、被災地の経済復興に貢献することを目的として、三菱商事が100%出資して設立した。具体的には、1)奨学金、2)コミュニティ組織への助成金、3)産業復興と雇用創出の支援事業を提供している。

鎌倉投信 (4億円)

投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献することを目的として、社会との調和の上に発展する「いい会社」の株式に投資する投資信託「結い2101」を運用している。

ミュージックセキュリティーズ (60億円)

ミュージックセキュリティーズは、「セキュリテ」と呼ばれるマイクロ投資プラットフォームを運営している。投資家は、セキュリテを通じて、自分が応援したい事業に対し1口数万円から投資を行うことができる。

KIBOW社会投資ファンド (5億円)

2015年に、一般財団法人KIBOWが、社会課題の解決に寄与する起業家に対して投資し、成長を支援し、社会の変革を加速するために設定した。